

# びがむゆい

豊かな自然みんなで 拓く町 伸びる町

▶「第11回町民登山」が五月二十八日に行われ五十人が参加、新緑の八塩山の登頂に心地よい汗を流しました。



1989 = 6  
No.411

平成元年6月1日発行・毎月1日  
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

▲「黄桜まつり」(記事二・三面)に文字通り花を添えた「ミス黄桜コンテスト」で、二代目のミス黄桜に猪股友子さん(二〇歳・写真中央) 〓畑村が、準ミスに小松麻紀子さん(二二歳・写真左) 〓八日町と横山美和子さん(一九歳・写真右) 〓智者鶴が選ばれました。



▶小学校春の運動会が四月下旬の連休にぎやかに行われました。(写真・高瀬)

- 第五回黄桜まつり……………2
- 自治会長会議……………3
- ふるさと出合いの森  
森林オーナー募集……………4
- (カメラ・アイ)  
ますます盛会の東京東由利会…5
- (新農村東由利)  
町農業の新しい顔  
「花き栽培」……………6





▲メインイベントのミス黄桜コンテストで、ミス黄桜を一目見ようと特設ステージ前に詰め掛けた大勢の観客



▲ミス黄桜コンテストに出場した東由利美人、七人



▲黄桜演芸会の名物「もちつき舞い」(地下の沢番楽)今年も池部正孝さん夫妻(地下の沢)が大熱演

# 第5回黄桜まつり

## 昨年上回る6,500人でにぎわう

町の一大イベント「黄桜まつり」(町観光協会主催)が五月十三、十四日の二日間、八塩いこいの森で開かれました。

二日間とも時折雨と風にたたられたものの、町内外から昨年をやや上回る約六千五百人が訪れ、名物の黄桜や八重桜を楽しみました。今年道路、駐車場などが一段と整備された中で開催、催しはABSラジオ番組「出前民謡」の収録、黄桜演芸会、溪流釣り大会、ミス黄桜コンテスト、健康ウォークマラソンなど多彩。花よりだんご派にはパーベキュー、ヤマメ塩焼き、焼きおにぎり、もち、焼き鳥、焼きそば、焼きいかなどを商工会、農協婦人部、連合青年

会、ファミリイ無線クラブらが提供、おいしいメニューに人々は舌鼓を打っていました。また好評を得たのが今話題のフランス鴨の肉料理(八塩山麓会)で、まつり会場での販売が初の本格的なお披露目とあり、高級牛肉にも劣らぬ肉やなべ物は飛ぶように売れ、加工場から何回も肉を取り寄せていました。催しの入賞者は下記の通りです。(ミス黄桜コンテストの入賞者は表紙に掲載しました)

### 入賞一覧

#### 健康ウォークマラソン

参加者百三十人・三位以下略

#### 小学校女子の部(敬称略)

①大庭 優子(大琴小6年)

②小野 智子(同)

③長谷部郁子(高瀬小5年)

※男子の部参加者なし

#### 中学校男子の部

①三浦 史康(雄物川町)

②高橋 賢伍(東中1年)

③阿部 等(同)

#### 同女子の部

①遠藤 裕子(東中1年)

②阿部由紀子(同)

③工藤 千春(同)

#### 一般男子・一部

①阿部 清隆(仁賀保高校)

#### 同・二部

①佐藤 和彦(湯出野)

②工藤 実(新処)

③小松 安男(田代)

#### 一般女子

①小松豊子(高戸屋)

②小野 栄子(館合新田)

#### 親子(家族)ペア

①畑山 克司(島)

②畑山美喜子(舟木)

③遠藤 健一(新処)

#### 親子三代

①高沢巳一郎(黒淵)

参加者十六人・三位以下略

①小林 幸雄(上通)

②渡辺 政光(板戸)

③畠山 久治(島)

#### 溪流釣り大会





▲健康ウォークマラソンには老若男女130人が参加。新緑のさわやかな風に吹かれ心地よい汗を流した

▼黄桜演芸会には双子姉妹の麻美ちゃんと明美ちゃん（6歳・向田）が初登場し大頑張り



▲時折の雨や風も何のその「やっぱり花見はこれでネバ…」



▲話題のフランス鴨は超人気で販売所には長蛇の列100人分準備した「鴨汁」はまたたく間に品切れに…



▲「CQ、CQこちらは…」アマチュア無線公開会場ではブラジルなど海外とも交信し「東由利町黄桜まつり」をPR

# 地域の身近な問題出し合おう

## 自治会長会議

## 自治会功労者 など表彰

町と地域とのパイプ役を担う自治会長さんたちが、生の意見を町政に反映させる「自治会長会議」が、四月二十七日有鄰館で開かれました。新年度で役員が改選されたこともあって、六十二自治会中三十三自治会から

新しい会長さんが出席しました。会議に先立ち、自治会長を五年間務め町と自治会の連絡調整役を果たしてこられた小野長兵衛さん（宿）と、町税の納期内完納などに協力された次の個人や団体に畠山町長から表彰状と

記念品が贈られました。

（納税優良表彰）・五海保納税

貯蓄組合（三年連続納納期完納

特別表彰）・横渡同（組合表彰）

・野田同（同）・黒沢同（同）

・前下小屋納税貯蓄組合長佐藤

三次さん（個人表彰）

（地域手づくり事業功労表彰）

・蔵地区コミュニティ協議会

・八塩芸能倶楽部

畠山町長のあいさつなどに続き、懇談会及び意見交換では、

### 町農業委員会

## 新会長に

## 遠藤平輔氏

### 改選後初の委員会開く

任期満了に伴う選挙で新体制となった町農業委員会は、五月二日改選後初の委員会を開き会長に遠藤平輔氏（五九歳・小倉）、同職務代理者に鈴木和夫氏（三七歳・沼）を互選しました。新会長の遠藤氏は昭和五十八年同委員に就任、同六十二年からは会長職務代理者として活躍しておられる、経験の豊かな方です。

なお、農協推薦委員には佐藤正一氏（七五歳・葎沢）共済組合推薦委員には小松良一氏（五三歳・山崎）が選ばれ五月一日付で着任しています。

▼燃えるごみの回収を夏場月五回に（実施を検討する）▼全町対象行事は日曜日に（工夫する）▼保育料決定基準の説明を（後日広報する）▼部落会館修理の負担について（原則として地域で対応を）などの地域の身近な意見・要望に町担当課長が回答（前記カッコ内）しました。

このほか葉書で事前に取り寄せていた要望事項については、後日自治会長宛て回答します。



# ふるさと出合いの森

## 森林オーナー募集



町では、町所有の森林を活用し都市と山村のふれあいを深めることなどを目的に「ふるさと出合いの森」を設定しました。

これは町民以外の希望者に、平成22年までの21年間特別町民（森林オーナー）になっていただき、山林を町と共同経営していただくもので、オーナーの出資金で山を手入れし、平成22年の伐採処分時に売上金を半分ずつ分け合うものです。

そして契約期間中オーナーの皆さんには、町特産品の無料宅配、町施設の無料提供や町民との交流など、特別町民としての特典を受けていただきます。

親せきや友人、知人に声をかけていただきますよう、町民の皆さんのご協力をお願いします。

山林所在地	東由利町宿字寺山地内ほか2ヵ所
対象面積	14.16ヘクタール
樹種・林齢	スギ21～31年生
契約期間	平成22年度の伐採の時まで
募集口数	85口（1人1口とする）
1口の金額	30万円
収益分収割合	出資者50%、東由利町50%
募集期間	平成元年8月1日から9月30日

### 特別町民の特典

- ① 特別町民の期間中、年に一回、町の特産品を無料宅配します。
- ② 広報「ひがしゆり」を配布します。
- ③ 森林浴や山菜採りにご案内します。
- ④ 町の各種イベントや記念行事にご案内します。
- ⑤ 町の施設利用を無料提供します。
- ⑥ 町の特産品をお求めの場合、お申し込みをいただければ、特別割引で宅配します。
- ⑦ 町に宿泊されるときは、宿泊先を斡旋します。
- ⑧ 平成22年の収入金の分配式にご案内します。

### 本町に湯は出るか？

## 温泉探査研修会を開催

町が「ふるさと創生事業」として今年度計画している事業の中に「温泉探査」があります。

二つ以上あること。温泉が出る条件は水（帯水層）があること、水が移動しやすいこと、熱源があること」と前置き。

この温泉探査事業の一環として五月十一日、町議会議員等を対象とした「温泉探査研修会」を役場会議室で開きました。講師は県商工労働部資源エネルギー課補佐の綿引光信さんなど県の職員二人で、「東由利町における温泉開発について」と題し一時間半にわたって講演しました。

温泉湧出の可能性として、「熱源としてもっとも有望と考えられるのは中世代白亜紀から新第三紀まで火成活動を行っている花崗岩類。東由利町では大平スキー場のボーリングにより地温勾配が日本の平均より高いこと、四百メートル深では百メートルに七度の増温率を示すことが指摘されており、これは深部に花崗岩体がある」とすれば調和的である」と温泉の可能性を示唆。

綿引さんは「温泉法による温泉の定義は温度が二十五度以上であること、有効成分が

調査地域の選定については「花崗岩体及び帯水層と考えられる畑村層の火砕岩類の浅いところを選定すべきと考える。これらを考慮すると老方向斜の東側でできるだけ低いところが望ましく、事前調査もこの地域を中心とするのが望ましい」と説明しました。



5月11日に開かれた温泉探査研修会

温泉探査について町では今後、同講演を参考に事前調査などの具体的な調査の準備を進めていくことにしています。



# カメラ・アイ

▼会務報告をする大滝安雄さん（袖山出身）



▼町から届けられた資料に見入る会員



▼「やあ久しぶり」と横小路出身の小松昌介さん・左



▼カメラに向かって微笑んでくれた東由利美人、



▼宴たけなわ。長谷山会長（中央）は名刺交換で大忙し



# ますます盛会の東京東由利会

首都圏に住む町出身者の組織「東京東由利会」(長谷山稔会長)の総会が五月十四日、東京北区

の滝野川会館で開かれ百三十人が参加、町からは畠山町長と長谷山議長が駆け付け親睦を深め

合いました。総会に先立ち放映した町の現況を知らせるビデオには会員が釘付けとなり、故郷

を懐かしんでいました。会議では一日バス旅行の実施や会員名簿を新しく作成することなどを決定。お待ちかねの懇親会では方言丸出しの会話に花を咲かせました。準備に携わってきた遠藤辰雄

さん(新処出身)は「年々盛会。会員を増やしこの輪をもっと広げたい」と話しています。なおこの紙面で紹介している写真は、同会の佐々木義勝さん(大琴出身)が撮影したものです。ご協力ありがとうございました。

若さがムンムン、やる気満々：情熱の集い。そのような期待を込め、四月九日日本荘グラントホテルで開かれた「由利郡連合青年会四十周年記念式典」に臨んだ。

結果は期待外れであった。「伝統ある郡連青なのに、いまの若者に青春の血が燃えているのだろうか」端的な表現をしてみました。そんな感じさえたのである。四十周年という歳月は長い。この歳月は、日本の再建復興繁栄の歴史の道であり、悲しみと

## 町長随想

### 「ふるさと創生に青春の血を」

町長 畠山 亮二郎

歴史であり、ひいては日本経済大國建設への道程として、誇りある伝統を築きあげた時代である。なのに、その伝統の誇りと、未来への夢に燃える確かな情熱を感じることができなかつたのは、私ば

ろは、混乱、混沌、無秩序、無法、虚脱、思想退廃、経済衰退、ヤミ、インフレ、暴力横行、犯罪多発…が実態。日本再建の基盤は、民生安定のため

の誇り高い職責に青春の血を燃やし続けていたものであった。四十年前は、どのような職域において「どう生きるか」が、すべての国民の時代テーマであった。

を創る情熱である。若者よもつと燃えて欲しい。…ふるさとをしっかりと見つめ、そして二十世紀をめざして青春を謳歌して欲しい。サムエル・ウルマンの有名な言葉をいま一度噛みしめてみよう。「青春とは、人生のある期間をいうのではなく、心の持ち方をいうのである。優れた創造力、逞ましき意志、燃える情熱、くじけない勇猛心、困難に臨む冒険心。この様相を青春という」と…。青年諸君。町づくりに青春をかけようではないか。



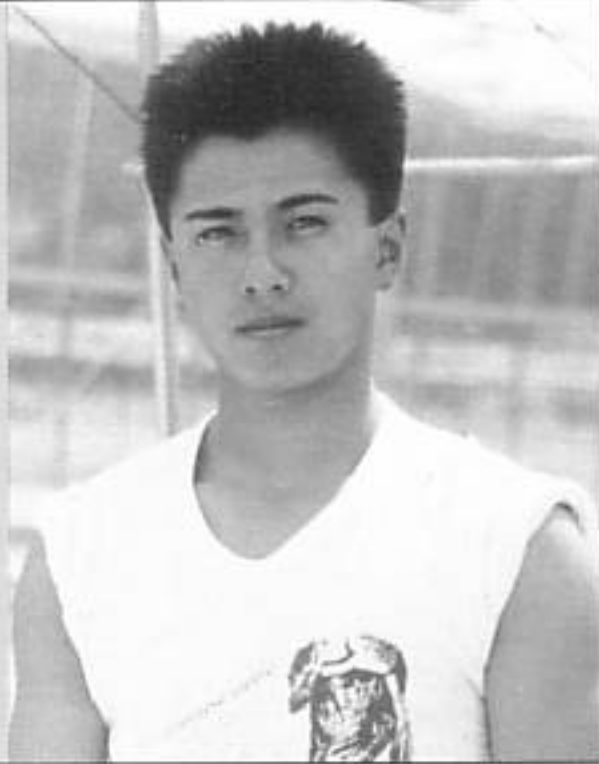
# 新農村 東由利



町農業の新しい顔

## 「花き栽培」

佐々木さんが  
バラの栽培に挑戦



佐々木精人さん(二〇歳・大琴)

町の農業に新しく「花き」が仲間入りし、二人の青年が今盛んにその栽培に挑んでいます。

花き栽培を始めたのは、鉢花栽培の小松茂穂さん(三四歳・新町)と、バラ栽培の佐々木精人さん(二〇歳・大琴)で、いずれもまだ若く、今後の経営ぶりが注目されています。

今号では、今年からバラの栽培を始めた佐々木精人さんにスポットをあててみました。

### 四百坪に 七千本を新植

国道一〇七号線を車で本荘方向から走り大琴地区にさしかかると、右手田んぼの真ん中にそびえたつ大型の鉄骨ハウスが目につきます。これが今年三月に完成した、佐々木さんのバラ栽培用鉄骨ハウスです。

広さは四百坪、郡内でも一、二を争う規模のこのハウスに、この四月約七千本のバラ苗を新植、現在苗は順調に育ち、八月上旬の初出荷にそなえ佐々木さんのきめ細かな管理が続いてい

ます。

### 研修の成果フルに 生かし入念に管理

佐々木さんがバラの栽培を決意したのは高校在学中。「多くの農産物が低迷の時にあり、どうせ農業をやるなら将来性のあるものを」と、高校卒業後はバラ栽培の先進地である神奈川県秦野市で一年四ヵ月間研修。昨年の夏帰郷と同時に、鉄骨ハウス建設などの準備に父・精喜さんら家族の手助けを得て取り掛かりました。そして今春立派な鉄骨ハウスが完成。四月四日にハウス内の畑にバラ苗を新植、現在は研修の成果をフルに生か



四百坪の鉄骨ハウス

し、「バラは虫がつきやすく病気に弱い植物。そのため消毒をこまめにし、かん水などにも気配りをしています」と入念な栽培管理に余念がありません。

スクスクと育つ七千本のバラ苗



### 未経験の課題は 気温、土壌、降雪

佐々木さんの心配は気温と土壌、降雪で、「気温が研修先の秦野市と一ヵ月のずれがあること、土壌が水田利用のため湿度が高いこと、それに冬期間の除雪などが未経験の課題です」と、ちよっぴり不安をチラつかせていますが、スクスク育つバラの苗を目の前に、待望の初収穫・出荷に期待を寄せ、目を輝かせています。

### 町民には半値以下で販売

収穫したバラは秋田市内の生花市場に出荷を予定しています

が、市場は好況で、特にバラの人氣が年々高まっていることが佐々木さんの心の支えになっています。また市場への出荷のほか、町内消費者の需要にも応えることにしており、この場合小売の半値以下で販売されることから、私たち町民にとって大きな魅力となりそうです。

### 産地間競争にそなえ 品質確保などが課題

今後の経営などについて佐々木さんは、「花の国内消費量は欧州などに比べ三分の一ともいわれ、花き栽培はまだまだ伸びる分野だと思います。しかし多くの農産物の低迷で花の生産に取り組み動きが全国の農産地で見られ、新しい産地が次々と生まれている現実もあります。このため今後は産地間競争が激化することも考えられ、品質の確保や品ぞろえなどのための技術修得がこれからの大きな課題です」と話しています。

### 町農業の活性化役に

花き栽培という本町ではまったく新しい分野の農業に挑戦する佐々木さん、そして小松さん。低迷する町農業の活性化を担うべく、今後のご健闘を大いに期待します。



# 6月1日は人権擁護委員の日 侵されていませんか？人権

## 人権って何ですか？

人権（ヒューマンライツ）とは、一口でいえば私たちが社会生活において幸福な生活を営むために必要な固有の権利であり、この権利は日本国憲法によって、すべての国民に保障されています。

しかし現実にはこの権利を「かって」や「きまま」とまちがえ、他人のいうことは聞かず自分だけの意見を主張したり、かってな行動をしたりする人がいるため、他人の

人権がおかされることがあります。  
**こんなとき人権があぶない**

- 人権が侵害されるとは：例えばひどい騒音、悪臭、ばい煙などに悩まされているとき。
- 学校やクラブ活動などで「いじめ」、リンチなどを受けたとき。
- 児童・生徒が先生から体罰を受けたとき。
- みんなから不当に仲間はずれや差別的あつかいを受けたとき。
- 変なうわさをたてられ、名誉や

信用を失ったとき。などです。

## 人権擁護委員ってこんな人

人権擁護委員は、基本的な人権が侵害されないように絶えず監視しもし侵害があった場合には、その相談相手になり、適切な処置を講ずることで救済を図り、また人権思想の普及高揚にも努めています。人権擁護委員は、地域住民で人格識見が強く、広く社会の実情に通じ、人権擁護に理解のある人を市町村長が推薦し、法務大臣が委嘱した方々で、町では下記写真の三人の方々が委嘱されています。

## 「頼りになります」困った時

人権擁護委員は、自宅ですべても相談に応じています。秘密は守り、相談は無料で、むずかしい手続きもいりません。

人権相談には、いじめ・体罰、部落差別問題をはじめ、家庭内の問題（夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続等）、借地借家の問題、隣近所とのもめごと、など非常に幅の

## 特設人権相談所を開設

次により特設人権相談所を開設します。相談員は左記の方々のか本荘法務局担当官です。人権についての悩みは、ぜひこの機会に相談されてみてはいかがでしょうか。

日時 六月九日(金)十時十五時  
場所 老人いこいの家・朋楽荘



阿部 寅静さん  
(蔵)  
☎69-3114



八嶋与四三さん  
(家の下)  
☎69-3134



佐々木君三さん  
(大琴)  
☎69-3237

# 東由利歴史散歩

## 式部光安・玉米に存在

### 『打越旧記』の由利十二頭

文・畑山昭一



玉米式部光安の図 (小松正昭)

由利十二頭のひとり打越氏の後裔（現大阪住）の家に、俗に『打越旧記』と呼ばれる古文書が保存されており、この中に古く由利十二頭が存在したことが書かれている。

楠氏の一族 仲太郎  
又次郎光重 滝沢住  
(小笠原氏)

小三郎光宗 子吉住 (同)  
式部光安 玉米住 (同)  
佐兵衛 岩谷住 (同)  
弥八郎 石沢住 (同)  
四郎左衛門光貞 赤尾津住  
(池田氏)  
鳥海三郎 西岡住

新田義貞一族 長浜住  
羽根川修理太夫 長浜新田住  
木曾左馬之介 矢島住  
・ 応永末年の事也  
応永（一三九四〜一四二八）

の年代は三十四年間も続き、その元年は南北朝合一のわずか二年目に当る。従って楠・新田一族が含まれているのは、明らかに南北朝対立の動乱が由利郡にも及んでいた形跡を示しているし、小笠原氏族が五人も認められることから、後世の由利十二頭の形成過程を物語る貴重な史料であると考えてよい。

あり、下村氏の名が見えないことから、後世の由利十二頭の玉米・下村氏の移住は、玉米氏の方が先であったということが解る。

なお、先に揚げた氏名をそのまま読めば十一人しかならないが、最初の「楠氏の一族仲太郎」は、楠氏の一族と仲太郎は別人であるという見解がある。それは仲太郎の「仲」は、中臣あるいは中原氏等は略して「中」又は「仲」と書き、ナカともチユウとも呼ぶといわれるから、こうした見解に基づく十二人が揃うことになる。





## 肥満を気にする人集まれ 「フレッシュ教室」が 肥満解消のお手伝い



リズムダンスに心地よい汗をながす参加者

町の新しい保健事業として、肥満解消による成人病予防を中心とした「フレッシュ教室」が先月からスタートしました。対象は基本検診の結果「高度肥満」と判定された方々及び希望者で、肥満を徹底的に解消するのが目的。年間七回の学習計画では「ストレッチ体操」など体を動かす内容が中心となっています。

第一回教室は五月十五日約四十人の参加で、ビデオ学習とリズム

ダンスが行われ、歌謡曲「酒よ」などに合わせ参加者はダンスに心地よい汗を流しました。

同教室では今後「体の老化を防ぐ美しいプロポーションづくり」「正しく歩く健康法」「美しくやせるための食事」など、講義にダンスやストレッチ体操など組み入れながら、楽しい内容で進められることになっています。

肥満を気にしているあなた……ぜひ参加してみませんか？

## 老方地区で大防火訓練実施 実践さながらの 模擬消火活動展開

春恒例の大防火訓練が四月三十日、老方地区を会場に町消防団員ら三百人とポンプ車など二十五台が出動して行われました。

訓練は「午後一時四十分コミュニティセンター付近で火災発生」の想定で行われ、第一次から二次、三次へと広がる模擬火災の消火訓練に、団員らはきびきびした動作を披露、実践さながらの訓練を展開しました。また今年も本荘署から屈折はしご車が出動、詰め掛け



老方館前で行った閉会式

た大勢の観客が見守る中、大がかりな救出訓練を繰り広げました。

消火訓練終了後は、参加者全員で老方地区をパレード。地区住民に火災予防を呼び掛けたあと、老方館前に集合して閉会式を行い、石渡力造町副消防団長が「今年はずでに民家二件から火災が発生し消防団が出動している。今後は火災を起こさないよう、みんなが注意し合ってほしい」と訓示し、訓練を締めくくりました。

## 朴の木沢放牧場が開牧 四十頭が若草を口に 約半年間体位づくり

昨年九月に昭和六十年來三年ぶりに開牧した八塩山ふもとの朴の木沢放牧場で、平成元年度の放牧が五月十一日から始まりました。今年には町内十農家から肉用牛十四頭、乳用牛二十六頭が放牧され農家の手から離された四十頭の牛は緑いっぱい広い牧場内を元気良く走り回り、早速おいしい若草を口にしています。放牧牛は約半年間ここで体位などを向上させ十月下旬には我が家に戻ります。



若草を口にする放牧牛

## 駐在所だより

くだまされないで 悪徳商法

最近、県内で一人暮らしのお年寄りを訪問し、サギ商法により法外な値段で換気扇を取り付けたり、ガス警報器を売り付けていた業者が捕まっています。このような、お年寄りを食いものにしている悪徳業者は、これからますますその手口をエスカレートさせて、話し相手のいないお年寄りを狙ってくるでしょう。

悪徳商法には現物まがい商法（契約後、代金を受け取っておきながら現物はわたさずに、預り証だけをわたして現物売ったことにする商法）や、原野商法（お年寄りを「くじに当たりました」などと言って温泉に招待し、土地などを高く売り付ける商法）があります。悪徳商法から身を守るには、あいまいな返事をしないでキッパリ「いりません」と断わるなど、強い意志が必要です。悪徳商法には十分気をつけてください。

## 運転免許

テレホンサービスをご利用ください

更新	(0188)	24-6100
免許	(0188)	24-6200
再交付	(0188)	24-6300
失効	(0188)	24-6400



## 横渡子ども会が全県表彰に 地域参加の勤労体 験活動に高い評価

五月二十五日、県正庁で行われた「青少年育成秋田県総会」の席上、本町の横渡子ども会が県内唯一、優良団体として表彰されました。

横渡子ども会は、日ごろ、伝統的な活動として空ビン回収や地域のクリーンアップ、道路花壇の手入れなど、働く喜びを中心とした「勤労体験活動」を進めており、いずれも「地域参加型」の活動であり他の模範であるとして高い評



地域参加が評価された横渡子ども会の活動(空ビン回収)

価を受けました。

町子ども会の育成指導を担う青少年健全育成町民会議代表の畑山昭一町教育長は「本町では横渡のように地域ごとに子ども会が結成され、それぞれが特色ある活動を展開しており、これらは家庭や学校では得られない、豊かな生活体験の場となっている。今回の受賞はこうした子ども会にとって大きな自信になったものであり、非常にうれしく思う」と話しています。

## 進めます町の名所づくり 今年もツツジ 二千本を植栽



植栽作業を行う東由利中一年生

台山周辺を緑地公園にしようとする町が昨年に引き続き、東由利中学校自転車置場後方から朋楽荘後方の国道に面したガケ地(約七千五百平方メートル)に、今年もツツジ二千本を植栽しました。

植栽作業は四月二十七日、東由利中学校一年生のみなさん七十七人にお願いで行い、今年約二千二百五十平方メートルのガケ地に、赤、白、ピンク、紫の鮮やかな久留米種のツツジを植栽しました。

## 献血ありがとうございます

5月8日・町内4か所  
太字400ml献血者・敬称略

- 〔区間賞〕敬称略・○は区間
- ① 畠山 繁光・老・18分43秒
  - ② 畠山 伸・同・21分42秒
  - ③ 佐々木 精人・宿・21分56秒
  - ④ 長谷山 和幸・老・12分50秒
  - ⑤ 藤丸 和幸・住・19分57秒
  - ⑥ 福田 清一・老・15分16秒

同日 五月五日  
参加チーム 住吉、老方A  
同B、宿・袖山  
優勝 老方A  
準優勝 住吉

## 第二十九回青年駅伝大会 老方Aが優勝

## 六年間で二千本を植栽 二百人が参加し ふれあいの森づくり

新生児誕生や小学校新入学の記念の行事としてすっかり定着している「ふれあいの森」づくりが、今年も五月十三日、八塩いこいの森で行われました。

これは町が同じいこいの森の環境整備とあわせ、自らの手による植栽で郷土意識を高めてもらおうと新生児の父兄、新入学児童及びその父兄を対象にツツジを植えても



親子で一株ずついねいに植栽

本ずつを植栽しており、今年の分を合わせこれまで二千本近いツツジが植えられました。

今年の「ふれあいの森」づくりには児童と父兄ら約二百人が参加し、自ら持参したクワやスコップで一株ずついねいに植栽、我が子の名前を記した表札をつける人も多く見受けられました。そして今年も新生児の父兄全員に同種のツツジを配布、新生児誕生記念に家庭の庭先に植えてもらいました。

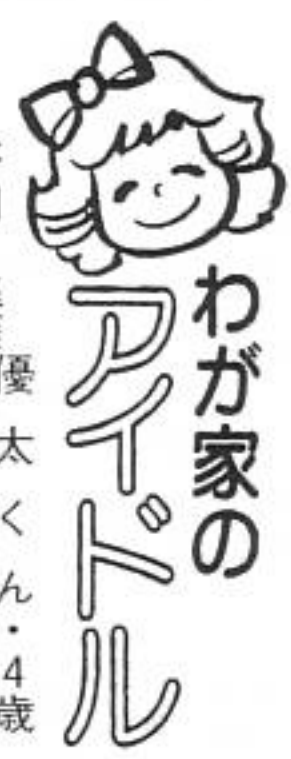
遠藤 武	畠山 英昭	渡辺 祥一	小松 育子	佐藤 直子	阿部 久	阿部 弘章	遠藤テツ子	鈴木 博	長谷山 節男	畠山 紀悦	武田 玲子	浅田 誠
木島 一広	畠山 守	小野 久隆	佐藤 修子	田代智和子	小松五緒子	渡辺 サキ	小野 賢治	小松千司子	高橋ゆき子	小野 泰好	猪股 友子	古関 和枝
		小松 信記	嶽石 文弥	遠藤 晃	畠山 明	小野 肇	佐々木 信幸	小松 慶悦	高橋 鈴子	小松 修一	伊東 民雄	大場 里美
											猪股 寿和	



み

ん

な



野田・遠藤 優太くん・4歳  
はるかちゃん・1歳

勝さんとまさ子さんの長男・長女  
「今年保育園に入った優太もワンパクですが、女の子のくせにはるかもきかんぼうで、おばあちゃんを困らせてばかり。今はとても元気な二人：これからも健康でネ」と、お母さんのまさ子さん。



の

ひ

ろ

ば

東由利の文芸

ゆりかご句会 (四月句会から)

◆すめろぎの陵墓朽ちたり絲さく  
阿部義直 (沼)

◆晩春にこの家地祭自酒盛人なり  
小松慶治郎 (高戸屋)

◆土筆和え母の伝授か味のよき  
菊地常作 (湯出野)

◆廃校の広場は荒れて土筆はゆ  
鈴木要 (沼)

◆葉桜や祭おわりて雲かわる  
佐藤正義 (湯出野)

◆道路鏡晩春の夕日まん中に  
高橋ヒデ子 (横渡)

◆晩春やどつと咲き出す北の里  
小笠原亮子 (蔵新田)

◆土筆野や笛の音してバス発てる  
小松メサ (下小路)

◆晩春の瀬音からませ湯治宿  
阿部澄子 (蔵)

◆土筆野や未完のキャンパス眺め  
小野貞子 (蔵新田)

◆早起きの庭の雀や土筆和え  
遠藤モトミ (新処)

◆春尽や黄桜見ゆる八塩ダム  
遠藤トミ子 (小倉)

◆土筆伸びし主ぬき畑に春日さす  
小松徳蔵 (湯出野)

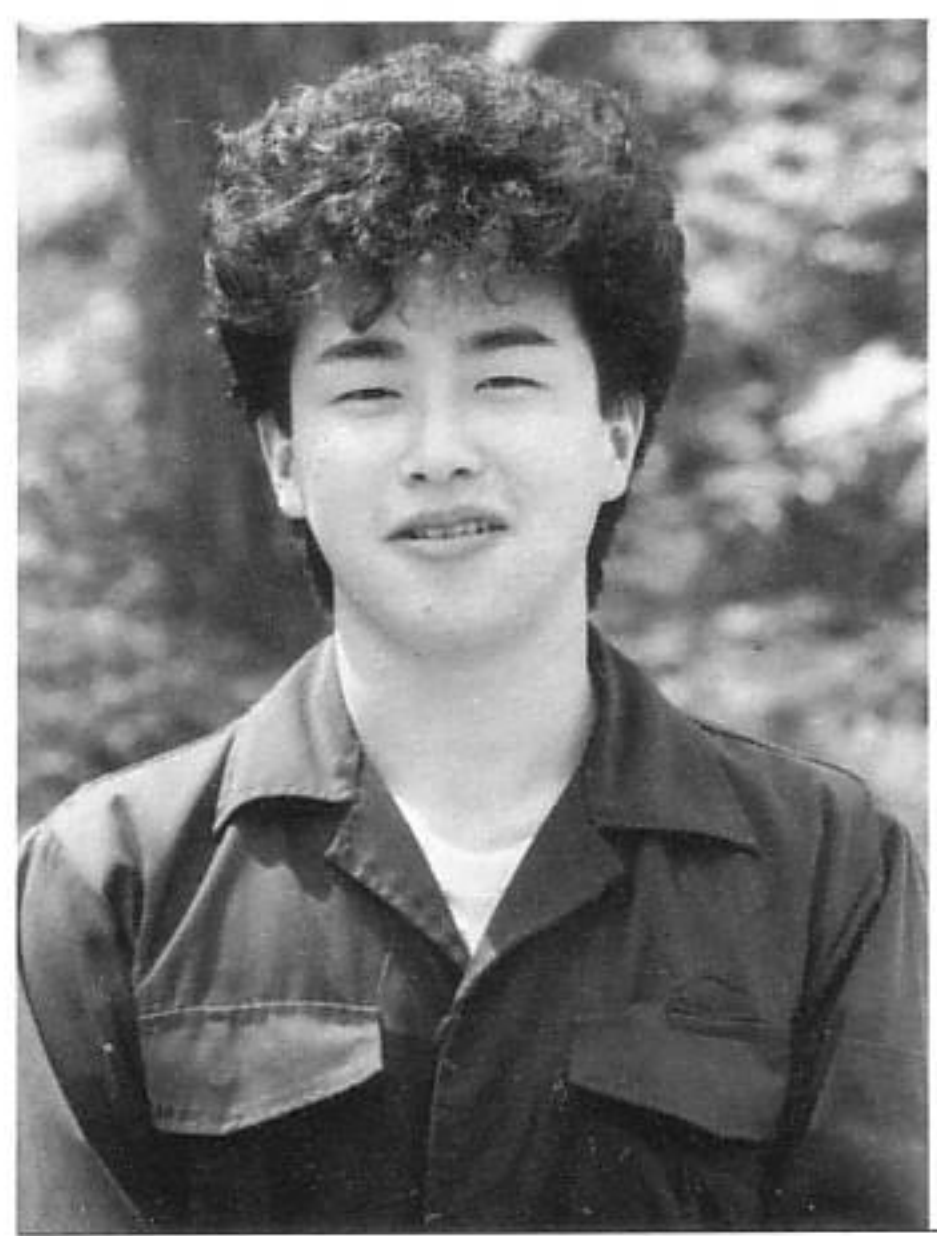
フレッシュ

取材にすんなりOKを出してくれた、義宏くん。貴重な昼休み時間に会社へおじゃましました。「いつも笑顔ですね」仲間の人が

「最近嬉しかったことは……車を買ったことです。趣味もドライブ。そんな言葉がまず返ってきました。当人は照れていましたが。」

ヤングレポート

佐藤 義宏くん (18歳)  
松柴・(有)M・T・C勤務



「夢は青年実業家です。理由なんかないんだけどなんとなく。あと若者が集まる場所も欲しいです」前向きさですね、義宏くん。最後に言葉を慎重に選ぶせいか考えこむ事が多い彼をうまく盛り上げようとしてくれた仲間の皆さんにも感謝でした。

古き心を伝える  
ふるさとに  
生きこる詩

土んづき唄

山崎・小松忠蔵さん (78歳)  
「ハアここは大事な隈柱 七福神と  
ついてくれハアヨイヨイハアヨ  
ハア 揚げれや 土んづき石  
揚げで下ろせば土締まる



昔、家を建てるときは、部落中の若者たちが土の盛った敷地に集まり、大きな石に何本もの縄を掛け、夜業にそれを揚げては落として土を固め、夜の更けるまで手伝い合いました。代わるがわるに、声自慢の若者が歌う「土んづき唄」そして、一人が歌い終るまでみんなでハヤシを歌ったものでした。月夜の晩、お互いに助け合うこの歌のひびきは、今も懐かしく思っておこされます。





# 子からホシネ本音親から



八塩小四年・畠山幸治くん

ぼくは将棋クラブにはいつています。

将棋はとてもむずかしいけれど、いろんな手を使って勝負ができるので、楽しいです。これからもがんばって、もっと強くなりたいと思います。

でも、勉強もだいじです。だから、学校ではぼくが一番にがてな国語、算数、社会をいっしょうけんめいがんばりたいと思います。



館合新田・畠山長助さん

将棋クラブにはいつているようです。お父さんは将棋をやったことがありませんが、きっと楽しいだろうなと思います。今度将棋のやり方を聞いて、いっしょにやりたいと思います。学校では勉強をがんばっていますか。テストの点数から、もう少しがんばってほしいと思います。それにスポーツや運動もやって、少しやせる努力をしてほしいと思います。

# ふるさとを想う 15

## 東京砂漠の「東由利の泉」

千葉県習志野市・小松玲子さん  
(上通出身・54歳)

すがすがしい初夏が訪れました。ふるさとの皆さん、ごきげんいかがですか？

五月十四日、東京東由利会の総会が北区滝野川会館で開かれ、「東由利」を合言葉にたくさんの人々が懐かしい顔を輝かせ、いそいそと参集いたしました。ビデオでふる里の近況を見、伸



びゆく町の様子を町長や議長さんから聞いているうちに、緑豊かな情景が目につかび「今すぐ帰って故郷を肌で感じたい!」「懐かしい皆さんにお会いしたい!」思いが強く募ってまいりました。

ふる里の唄に浸り、人々の温かい心にふれながら、尽きることはない思い出を語る……何と幸せな心満たされる一日だったことか。町出身者の出合いの場がここにある……この喜びが一つになり、いつの間にかこの東京砂漠に、小さな「東由利の泉」が誕生しているのです。知らない人どおしでも、ふる里が同じということだけで知り合いになり、そしてそこに幸せの輪が広がる……このつながりの深さに感謝しながら、来年はもっと多くの人々と共にこの楽しみを味わいたい願いでいっぱいです。そしていつの日かこの輪をそっくり町に運び込み、町発展に役立てられたらと、しみじみ感じています。

## みんなの健康

# 健康診断

始まります 今年の検診

年に一回は  
受けましょう

毎日の生活の中で自覚症状がないと、つい健康と思いがちです。しかし、高血圧や動脈硬化、心臓病、がんなどの成人病は、無症状のまま進行することが多いのです。ある日突然、心臓病の発作が起こったとしても、その原因となる動脈硬化や高血圧は、十年、二十年前から始まっていたとも考えられるのです。

そのために、定期的に健診を受け、自分の健康状態を継続的に把握しておくことが大切になります。最近、とりまとめた各種健康診断申込票をみると、「去年受けたから」、「なんともなかったから」今年も受けないという方が、目につきました。しかし、人間の身体は刻々と変化しつつあるので、最低、年に一回は、健診を受けてほしいものです。

さて、今年も今月下旬の大腸がん検診を皮切りに、各種健診事業が始まります。これからの高齢化社会にむかって、すこやかな老後をむかえるために、家族みんなので、健診を受けましょう。

(保健婦・高橋鈴子)

## レクダンスでリフレッシュ

年を取るにつれて、なぜか増えてきた「体重」……。このごろとても気になって仕方がありません。理由はふたつ……まず食べることに、それに運動不足です。

こんな悩みを抱えているとき、友人から「ダンスをやらなさいか?」と誘われたのが昨年十月。はずかしさなどでためらいましたが「体を動かして汗を流せば運動不足の解消になる……」との甘いことばもあり、おもむろに参加。それから七カ月がたちました。

## 随想スポット

### 私の出番



下小路 小松ミキ子さん

ダンスといっても「レクリエーションダンス」。誰にでも覚えられる簡単な動作のダンスで、軽音楽に合わせて手足を存分に動かす運動はストレスの解消にもなります。午後七時半から始まり九時の終わる頃には汗びっしょり。「少しはやせたかな」の期待が何ともいえない魅力です。現在八人が毎月一回子ども同伴で健康増進センターに集まり、心地好い汗を流しています。参加してみようかなと思う人は、☎六九一三三三八番の小野貞子さんまでお電話ください。





# 郷土の野草

文・写真 小松忠正

## 51 エンレイソウ

(ユリ科)

日本各地の山林の樹下に見られます。地下に太い根茎があり、そこから三〜五本の茎を出してそれぞれに広卵円形で先端の尖った三枚の濃緑色の葉をつけます。葉の中心に暗褐色のガク片をつけ、暗紫色の花を横向きに咲かせ、花後球形の実をつけます。この実は熟すと甘味があり、手でさわって暗緑色や紫黒色になった軟かいものを食べます。この草の名を延齢草とも書き、長生きに関係があるようですが、その成分はありません。

## 5月★町のミニ統計

- 人口( )は前月比
- 男 2,905人(1)
- 女 3,042人(5)
- 計 5,947人(6)
- 世帯数 1,434戸(4)
- ( )は1月からの累計
- 出生 6人(24)
- 死亡 3人(20)
- 転入 23人(46)
- 転出 19人(83)
- 結婚 2組(4)
- 離婚 1組(4)
- 火災 1件(2)
- 救急車出動 6件(26)
- ごみ処理量 48t(142)
- 交通事故 1件(2)
- 死者 0人(0)
- 傷者 2人(3)
- 飲酒運転 0人(3)
- 酒気帯び 1人(2)

## 6 町民カレンダー



歯の衛生週間 (6月4日~10日)

## 善意

町社会福祉協議会に、由利の会 舞踏発表会(三浦ナミ子代表)から五万円、鎌田晴也さん(黒淵)から金一封のご芳志がありました。ありがとうございます

## 町民カレンダー ピックアップ



第五回秋田県ゲートボール選手権都市予選大会が六月二十三日本町を会場に行われます。この大会は各市町村代表チームの参加により行われるもので、本町からも六十五歳以上の部に一、年齢無制限の部に二チームが出場できます。本町の代表(年齢無制限の部)については、六月中旬までに町の選手権大会を開き、出場チームを決定する予定で現在町のゲートボール協会が準備を進めています。

- 4・中学校招待野球大会(台山9時)
- 9・特設人権相談(朋楽荘10時)
- 12・フレッシュ教室(老方館13時)
- 14・町議会定例会(予定)
- 15・ことぶき大学運動会
- 15・心配ごと相談所(朋楽荘)
- 16・健康大学(有鄰館13時)

## 戸籍だより

(4/21~5/20届出・敬称略)

- お誕生おめでとう
- 4/8 遠藤 真美(孝子・長女)横小路
- 4/20 畑山 知美(悦也・長女)館合新田
- 4/28 阿部 大輝(法久・長男)野田
- 4/30 畠山 梓(光夫・長女)茂沢
- 5/2 小野 朋子(武男・長女)上里
- 5/2 伊東 圭介(一夫・三男)蔵
- 5/3 小松 周平(二早代・長男)宇戸坂
- 5/8 佐藤 恵美(森雄・三女)館合新田
- 5/10 佐藤 和幸(賢一・長男)十二ノ前

## 「いのちの水」をたいせつに

水道週間・六月一日〜七日  
今年の冬は雪が少なく、雪解け水の不足による水道の湧水が心配されます。水道の無駄使いをせず、また漏水などにも注意し、「いのちの水」を大切に使いましょう。

- 18・レディスソフト、二六〇歳ソフト大会(台山グラウンド)
- 20・22・町敬老会
- 22・町畜産共進会(畜産広場)
- 23・秋田県ゲートボール選手権都市予選大会(本町会場)
- 26・27・大腸がん検診

## ●ご結婚おめでとう

- 4/25 大日向 博(宮ノ前)
- 4/25 遠藤 一美(本荘市)
- 4/30 渡部 清(雄物川町)
- 4/30 工藤 文子(山崎)
- 5/1 高橋 京一(十二ノ前)
- 5/1 佐々木伊佐子(大)
- 5/8 八嶋 盛孝(黒田)
- 5/8 菅原実千子(秋田市)
- 5/12 阿部 寿夫(大沼)
- 5/12 鈴木 美幸(琴)

## ●ごめい福をお祈りします

- 4/20 阿部トク子(56・章)治妻(岩館)
- 5/4 菊地 ミサ(72・政之助・妻)館西
- 5/10 阿部ヨナミ(89・政三・母)桂台

町民の声を町政に! 町長の面会日今月は20日

## 編集室から

▼この広報紙の値段はいくらかというと一ページが約五・六円。だから今月は一部約六十七円(消費税別)です。こうして一部当たりで計算すると安い気もしますが、全体では月二千七百部を印刷しますので、その額は約十八万円。年間では約三百万円(平均十六ページ)という大きな額です。▼ところで先月号の表紙をカラー印刷にしたところ好評で「毎月カラーで」という要望もありました。でもあの分だけで白黒印刷の五ページにも当たらんです。そんなことで今月は十二ページです。▼広報紙送付の謝礼として嶽石春雄さん(相模原市)荘野敏雄さん(横須賀市)畑山齊さん(札幌市)からそれぞれ一万円が届きました。礼状と同時に町勢要覧などを送らせていただきました。

